

発言通告書（総括表）

平成26年 第2回 定例会 代表質問

NO	発言者	発言事項	発言要旨	答弁を 求める者
1	鳥海議員 (自民)	1 東京オリンピック・パラリンピックについて 2 第三次住宅基本計画の策定について 3 いじめ防止対策について 4 介護保険事業計画について 5 客引き防止対策について 6 震災時の初動対応について	○実行プログラム策定にあたり、基本的な考え方について、区長の見解を伺う。 ○策定に向けた作業の進捗状況はどうか。 ○今後の住宅施策の基本的方向性についてはどのように考えているのか。 ○住宅付置・開発協力金制度について、どのような見直しを図ろうと考えているのか。 ○「いじめ防止対策推進法」の施行により、どのような対応をとっていくのか。 ○区内で重大事態が発生した時、区長はどのように問題解決をしていこうと考えているのか。 ○大人の意識改革について教育委員会はどのように認識しているか。 ○これまでの計画との相違点は何か。 ○応分の負担ができる方には2割負担をお願いするべきでは。 ○区が行ってきた保険料抑制策は継続するのか。 ○推進団体や警察などとの協議状況は。 ○商店街の賑わいを確保しつつ、客引きを防止するためにどのような取り組みを行っているのか。 ○条例の趣旨の周知が必要ではないか。 ○実際の参集状況と区の認識はどうか。 ○区民への情報提供方法の工夫はしたのか。	区長及び 関係理事者
2	林議員 (千代田)	○電線類の地中化の整備計画 ○指定管理者制度の成果と課題 ○子ども・子育て支援事業計画	・区道130kmのうち整備可能な区間は何%か？ ・委託することにより整備進捗は、早まるのか？ ・電線類の地中化の整備を改定する千代田区基本計画に！ ・指定管理者の更新における課題とは？ ・なぜ、指定管理者は変更されないのか？ ・指定管理者制度と業務委託の財政効果 ・ニーズ調査の結果と課題 ・子ども・子育て支援事業計画の見直し時期を柔軟にすべき ・千代田区保育ビジョンの策定と子育て施設の整備について	区長、教育長 並びに 関係理事者

発言通告書（総括表）

平成26年 第2回 定例会 代表質問

NO	発言者	発言事項	発言要旨	答弁を 求める者
3	飯島議員 (共産)	介護の安心を支えるために 保育の需要にこたえるために	<p>医療・介護難民をふやす「医療介護総合法」が短時間の審議で強行採決された。高齢者の安心のために自治体が果たす役割がますます大きくなる。</p> <p>①初期認知症など、要支援者の介護サービスについて</p> <p>②介護保険料と利用料の負担軽減について</p> <p>③特養ホームなど、施設整備計画について</p> <p>「希望する保育所に入りたい」という願いがふえ続けている。子どもの発達を保障し、子育て安心の実現は待ったなしの課題。</p> <p>①保育の必要量について</p> <p>②園庭・ホールなど保育施設に不可欠なスペース確保についてなど</p>	区長並びに 関係理事者
4	大串議員 (公明)	千代田区の都市としての現況 と課題について	<p>(1) 超高齢社会を迎え、また 3.11 大震災もあり都市のあり方は大きく変わろうとしている。都市政策においても、都市の拡大と機能を優先とする政策から住民の幸せと尊厳を優先とする政策への転換が必要である。区長に今後の都市政策（まちづくり）のあり方について基本的な考え方を問う。</p> <p>(2) 16年を過ぎた都市計画マスタープランについて、掲げられた目標はどこまで達成できたのか。千代田区の都市としての現況と課題をどう認識しているのか。</p> <p>(3) 福祉の視点からの都市政策 第3次住宅基本計画について</p> <p>①超高齢社会を迎え、住宅基本計画と福祉部の「地域包括ケアシステム」との連携は不可欠である。どう連携を図り高齢者の住環境を整備していくのか。</p> <p>②借上げ型区民住宅について</p> <p>(4) コミュニティの視点からの都市政策 コミュニティ施策について コミュニティ振興課を中心に社会福祉協議会や生涯学習館などを中間支援組織として明確に位置づけて推進してはどうか。</p>	区長並びに 関係理事者